



森林ふれあい情報

平成28年12月
第40号

林野庁中部森林管理局
木曽森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@maff.go.jp

特集号

木曽谷支援の取組「木曽路パズルラリー」

木曽谷では、平成26年9月27日に発生した、犠牲者50名を超える御嶽山噴火災害により、発生から3年目となった現在でも、噴火前と比較すると観光客は75%にとどまっています。

木曽谷への観光客数が低迷していることから、御嶽山噴火災害の復興支援を目的に、中部森林管理局では、中京圏とのイベント交流や、木曽路の森林、林業に親しむ支援ツアーの他に、木曽谷の森林に親しみながら、森林の大切さを理解してもらうことを目的とした「パズルラリー」を実施することとしました。

これは、木曽地域の観光協会と連携し、当センターが平成25年度に作成した、木曽路ナチュラルトレッキングマップに掲載している木曽路の散策コース12カ所にパズルピースを置き、ピースを6枚集めると1枚の絵が完成する「パズルラリー」を、「木曽路トレッキングコース」と、普及版として赤沢自然休養林内で完結する「赤沢自然休養林トレッキングコース」を、本年4月29日から平成29年11月12日までの期間でスタートしました。



作成したマップ

「木曽路トレッキングコース」は、木曽郡上松町内の木曽路美術館の協力により、江戸時代の浮世絵師「溪斎英泉」の木曽街道「馬籠」の絵を、地元産ヒノキ間伐材の板に直接カラー印刷したものを6分割し、木曽地域6町村別に1ピース置き、各町村の散策路にあるパズル箱や施設等を巡って6枚のピースを集めると絵が完成し、集めたピース6枚を

パズル配置場所

- 1, 木祖村・塩尻市
水木沢天然林・鳥居峠
- 2, 木曽町
城山史跡の森・地藏峠・油木美林
- 3, 王滝村
木曽御岳自然休養林・御嶽古道
- 4, 上松町
赤沢自然休養林
- 5, 大桑村
阿寺溪谷
- 6, 南木曽町・中津川市
馬籠峠・田立の滝・柿其溪谷

写真に撮り、当センターへ送ると台座を進呈するものです。



6枚のパズル



完成品（木曾街道 馬籠）

また、木曾路散策コース全12カ所を制覇された先着100名様に、はがき大の地元産ヒノキ間伐材の板にカラー印刷した、歌川広重の「上ヶ松」と溪斎英泉の「伊奈川橋遠景」の浮世絵を進呈しています。



歌川広重 「上ヶ松」



溪斎英泉「伊奈川橋遠景」

各協賛団体によるチラシの配布や観光協会等のホームページへのリンクをしていただくなどのPRや、新たにのぼり旗を設置、木曾地域の道の駅の情報コーナーにもチラシ等を置いていただき、長野県内を始め関東方面や中京方面等幅広い地域の皆様にチャレンジしていただいております、11月末日現在41名の方が全12カ所制覇されています。

「赤沢自然休養林トレッキングコース」は、中部森林管理局が所蔵している「木曾式伐木運材図会」の1場面を6分割したものを使用しています。

「木曾式伐木運材図会」は、江戸時代後期頃の伐木運材方法の様子が描かれた絵巻物で、上下2巻あり、上巻は、山入りから伐木運材工程を取り上げた絵図、下巻は、運材のため伐採した木材を筏に組み、木曾川本流を熱田白鳥湊までの流送した絵図により描かれており、林業の歴史を語るうえでも貴重な資料です。

絵図は「元伐之図」を使用し、「木曾路トレッキングコース」と同じく、6分割したピースを作成し、各コースにパズル箱を設置し、その中にピースを入れた小箱と、「パズルラリーの遊び方」の紙と「チラシ」を置き、6枚集めると赤沢自然休養林内の「森林セラピー体験館」でピースの張り板と台座を進呈するようにしました。



元伐之図

初めての試みであり、参加者がどれほどいるのか予測できず、当初、夏休みまでは終了しないのではと予想しましたが、赤沢自然休養林の開園日がゴールデンウィークの初日ということでもあり、大勢の方に挑戦していただき、多い日には1日に50名以上の方が参加され、開始から2ヶ月後には、駐車場に近いパズル箱の木製ピースを、来園者が記念に持ち帰るのか均等に減らず6月24日で終了することとなりました。

参加者のアンケート結果では、ほとんどの方が、「良かった」「ちょうど良い運動になった」との感想に加え、「継続してほしい」との意見が多数寄せられ、こうした課題や反響を踏まえ、9月23日から赤沢自然休養林が閉園する11月13日までの期間に第2弾を行うこととしました。

絵図は「木曾式伐木運材図会」から「株焼之図」を使用し、記念に持ち帰ることによる片減りが心配されるところから、今回はプリントアウトした6分割の紙をそれぞれのパズル箱に入れ、応募用紙に貼り付け応募箱に投函してもらおうと、パズルピース、張り板、台座をセットにしたものを、郵送することとしました。



株焼之図

また、赤沢自然休養林内にある食堂、土産物店3軒に多くの来園者が立ち寄るよう、同様のセットを預け、完成した応募用紙と引き替えに進呈することとしました。

結果として、台風の接近や紅葉の遅れなどの影響があったのか、予定数量前に終了となりました。



「赤沢自然休養林トレッキングコース」では、パズルラリーの応募用紙にアンケートの記載欄を設けることにより、来訪者の客層や感想等を把握し、今後のPR活動等に活用することとしました。

参加者の地域別では、地元長野県を含む中部地方が77%を占め、関東地方が12%、近畿地方が10%、中国地方が3名、四国地方が1名で外国の方も4名参加しました。



年齢別では、60歳代が26%で最も多く、次いで50歳代の17%で半分以上を50歳代以上が占めており、中高年層の参加者が多くなっています。

誰と参加したかとの質問には、仲間同士が半数以上を占め、次に家族の20%となり、複数名で参加している人が多くなっています。

中山道を歩く観光客は増加しているものの、木曾谷全体では御嶽山噴火前の水準には戻っていません。今年度から始めた事業であり、パズルラリーが木曾谷の観光地への集客にもたらした影響は未知数ですが、協賛していただいた各団体からも「好評だった、継続して欲しい」との意見もあり、引き続き地元町村や観光協会等の協力を得ながら木曾谷支援の取組としてパズルラリーを実施します。